

平成26年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A 6	取組 名称	舞鶴市の文化遺産調査と活用
研究代表者:	文学部 (研究科)	職・氏名:	准教授・上杉和央
研究担当者:	京都府立大学 (上田純一、東昇、菱田哲郎、向井佑介、松田法子) 外部分担者・協力者 (小室智子氏、奥谷三穂氏 ほか)		
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名)	京都府舞鶴市、舞鶴市教育委員会社会教育課文化財係		
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>本研究からは平成25年度よりの継続事業です。本研究では、①資料 (古地図・文書) 調査、②集落調査、③石造物調査、④街道調査、という4つの柱を立てて、調査を行いました。いずれも地域の歴史を知るための基本調査となります。これらの成果をもとに⑤舞鶴での展示や報告も行いました。</p> <p>①では、江戸時代の丹後国や加佐郡域を記した絵図や明治時代以降の地籍図、また地域に残る古文書などを調査し、重要な資料は翻刻を行い、また写真撮影を実施しました。</p> <p>②～④は、現在の地域に残された歴史的痕跡の調査です。今年度は舞鶴市和田地区の方々にお世話になり、集落内の景観や石造物の調査を行いました。また由良川から東舞鶴までの旧街道の調査を行いました。⑤は後述します。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>上記①で特に重要と思われた江戸時代の絵図6点については、専門業者による撮影を実施しました。また、郷土資料館や各地区の公民館等で所蔵されている明治時代の地籍図のうち20点については、本学の所蔵しているA1フラットベッドスキャナーでスキャンする作業を行いました。大型の地図は調査や公開が難しいですが、このような記録化により、未来に地域遺産を継承し、それらを用いた地域史の解明が可能となりました。</p> <p>これらの記録化と研究分析によって明らかになった成果については、舞鶴市郷土資料館の企画展「丹後国絵図」展 (平成26年9月13日〔土〕～10月26日〔日]) で披露しました。</p> <p>そのほか、舞鶴市内の堂奥地区、和田地区の集落調査により、地区の社会構造と地域遺産との関係が浮かび上がってきました。その内容の一部は、平成27年3月1日に現地で調査報告会を実施しました。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>舞鶴市郷土資料館の企画展「丹後国絵図」展 (平成26年9月13日〔土〕～10月26日〔日]) での展示解説文の執筆、展示解説を担当しました。</li> <li>平成27年3月1日、舞鶴市堂奥公民館にて、堂奥地区の調査と古地図調査の成果について、地元報告会を開催しました。(参加者30名)</li> <li>報告書は平成27年度に京都府立大学文学部歴史学科文化遺産叢書 (第10集) として刊行予定です。</li> </ul>			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
文学部 (研究科)		歴史学科	准教授・上杉和央
Tel: 075-703-5278		E-mail: kuesugi@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）



平成 26 年 7 月 29 日 絵図調査



平成 26 年 9 月 27 日 和田地区での現地調査



平成 26 年 9 月 27 日 高倉神社での石造物調査風景